

1. 本県周辺海域の概況(図1, 5/17現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行型のC型で推移しています。黒潮本流は、4月下旬まで本県沖合を北東方向に通過していましたが、現在は犬吠埼沖合を東方に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39.5° 東経142.5° 付近(岩手県沖合)にあります。親潮の面積は平年よりも大きめです。また、親潮第一分枝に連なる冷水が常磐海域まで南下しています。
- ・鹿島灘沿岸の表層では、黒潮本流から暖水が波及しています。また、鹿島灘周辺では、暖水と冷水の強い潮目が形成されています。

2. 海洋観測結果(5/9~15:調査船「ときわ」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10~13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。表面水温は、会瀬沖で9.7~13.7℃, 大洗沖で10.5~17.1℃, 鹿島沖で15.8~17.6℃, 犬吠埼沖で17.4~19.5℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、県北中部海域を中心に広い海域で降温(-11~-1℃)しました(図6~7, 図14~15)。
- ・平年と比べると、暖水波及がみられる鹿島灘沿岸の表層を除き、本県海域の広い範囲で「低め基調」となりました(図8~9, 図16~17)。冷水南下の影響により、今年1月以降続いていた「高め基調」から一転して「低め基調」となりました。
- ・潮流の特徴として、北方からの冷水南下に伴い、会瀬・大洗定線の沖合で1ノット前後の比較的強い逆潮(南向きの潮流)が観測されました。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行型のC型で推移し、黒潮本流は犬吠埼沖合を離岸傾向のまま東方に流去する状況が続くでしょう。
- ・親潮の面積は大きめで推移し、親潮第一分枝の先端は北緯37° 30' 東経143° 付近(福島県沖合)まで南下するとみられます。よって、本県沖では北中部海域を中心に冷水の影響がしばらく続くでしょう。
- ・水温を平年と比べると、「平年並~低め」で推移するでしょう。

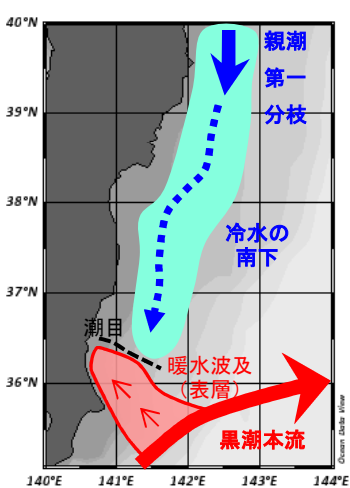


図1 海況の概要
(5月17日現在)

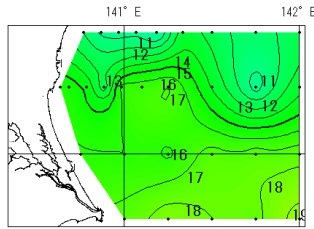


図2 海面水温(°C)

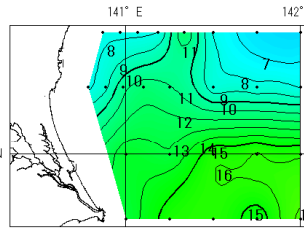


図3 50m深水温(°C)

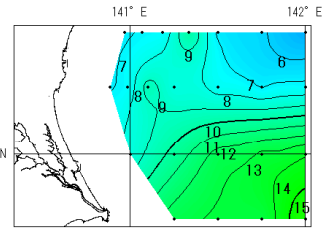


図4 100m深水温(°C)

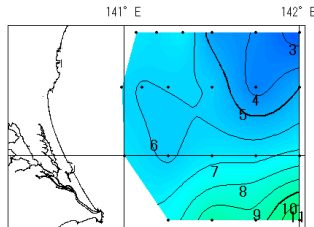


図5 200m深水温(°C)

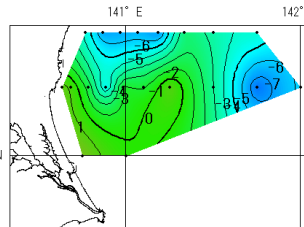


図6 海面水温前月差(°C)

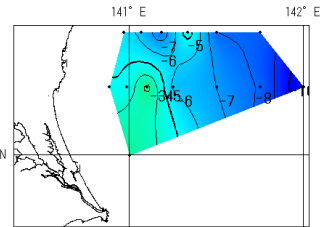


図7 100m深水温前月差(°C)

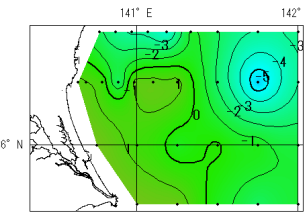


図8 海面水温偏差(°C)

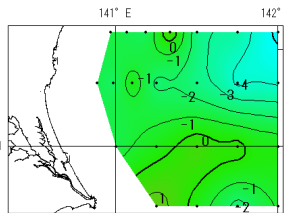


図9 100m深水温偏差(°C)

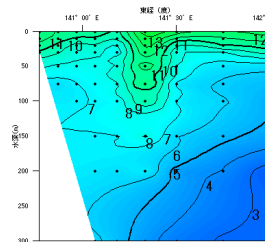


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

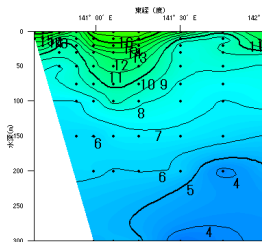


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

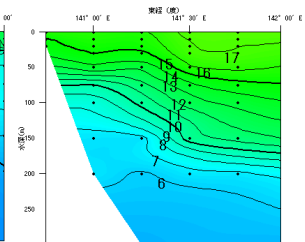


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

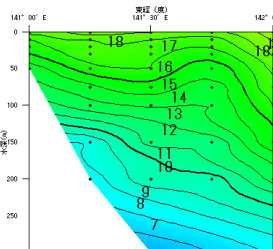


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

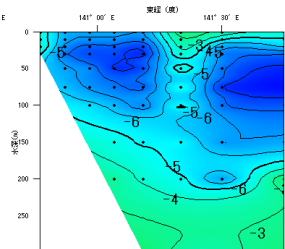


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

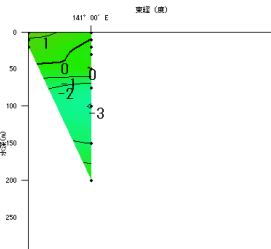


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

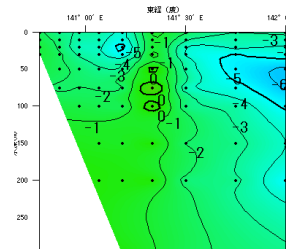


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

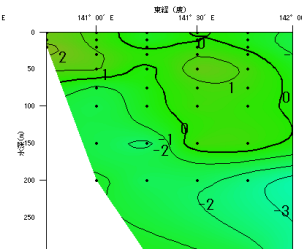


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)